

韓国：濟州島訪問 MOU締結

4月23日～25日の3日間、総勢7名の ANIA 関係者が濟州島を訪問しました。主な目的は JDC (Jeju free international city Development Center: 国土海洋部 濟州国際自由都市開発センター) との MOU (Memorandum of Understanding: 了解覚書) 締結と The 7th ASPA LEADERS Meeting (アジア・オセアニア地区 14 か国の国際会議) への参加です。参加企業同士のビジネスマッチングやプレゼンテーションなど内容の濃い訪問でした。

4月23日(月)

(1) 入国、現地集合

北海道、愛知、京都、徳島、愛媛の各協会から総勢7名の参加となり、出発地も違うことから現地集合としました。以前の入国審査はパスポートと入国申告提出するだけでしたが、指紋採取と顔写真を撮られ便利さがなくなっていました。40～60代と思われる女性グループが半数以上を占め、韓流ブームのすごさを感じます。飛行機は満席でオーバーブッキングのため、ビジネスクラスへと変更になり、空港には JDC から黒塗りが迎えに来ておりちょっとした VIP 気分です。



調印式

(2) 17:00～ JDC と MOU 締結

濟州島は軍事・外交・司法を除いた自治権が与えられており、海外からの企業誘致などを積極的に行っています。JDC は政府出資の特殊法人で国際自由都市開発事業を推進し、濟州先端科学技術団地の開発などを行っている団体です。濟州島を北東アジアの中心地と位置付け、各種教育や税制上の優遇措置、施設などを充実させています。

国際ネットワークを構築して事業を推進し、相互の発展を図ることを目的に関係者およびマスコミが見守る中、JDC 邊理事長と ANIA 中村会長による MOU を締結いたしました。さらに締結式には日本の松井総領事にもご出席いただきました。双方にとって有意義な国際締結になればと思います。

また、ANIA 会員である京都情報大学院大学も人材育成に関しての締結を致しました。



関係者記念写真

(3) 19:00～ Welcome Reception

国際交流が図れるように一部の参加者は席が指定されての夕食会です。しかし、どのテーブルを見ても言葉の違いのためか会話が進まず、ひたすら食べるか、余興を見て過ごす方も多くみられました。料理も様々な国の人に合うように一般的なホテル料理でした。個人的には韓国料理(韓定食等)を期待していたのですが……。日本出発前に Halal Menu についての質問なども来ており、国際会議で料理を用意するのも大変だと感じました。



Welcome Reception

(4) Casino

韓国と言えば Casino が有名です。JDC が用意してくれたホテルにも Casino が併設されており、多くの人がゲームに参加していました。印象として比較的高額 Bet の所には中国人が多かったように感じました。勢いの差を見せつけられた一瞬でした。



伽耶琴、韓国胡弓

韓国：済州島訪問 ASPA LEADERS Meeting 参加

4月24日(火)

(1) 9:30～ Plenary Session

ASPA(Asia Science PArk)の各国の代表者による Keynote Speech。日本語では工業団地やテクノパークと言われる誘致する側の紹介です。遠くはフィンランドからも参加しており、各地域の取組や特長などが発表されました。

(2) 13:00～ Business Session & Business Matching

午前中はどちらかと言えば、企業を誘致する側のプレゼンでしたが、午後は入居する側の事業紹介とマッチングです。初めに ANIA 長谷川副会長(京都情報産業協会 会長)による、gTLD(generic Top Level Domain)がもたらす新しいビジネスモデルの可能性や状況について話されました。

Business Session は英語でやるように事前連絡があったので、資料は全て英語で作成しました。発表も英語で準備をしていたのですが、当日になって同時通訳が入ることが分かり、日本語でやって欲しいと言われました。ホッとすることも事実ですが、せっかく準備したのにという多少複雑な気持ちです。

Business Matching は事前面談希望企業と1対1での話し合いで、通訳を挟みながらの会話のため、思うように話が進まず国際交流の難しさを実感しました。また、確認不足と言ってしまえばそれまでですが、事前に配布された企業の中に面白そうなインターネット関連ビジネスを行っている企業があり、マッチングを申し込んだところ、韓国テレコム(日本でいう NTT)であり、規模の違いからマッチングとしての会話ではなく、日本の一民間人として情報通信産業に対する率直な意見を求められました。

RCA(Radio Corporation of America)の商標権を取得し、北米市場に進出している韓国企業とも面談ができました。日本製のようにどうやって使うかわからないほどの高機能ではないが、低価格なうえに必要な機能・性能を満たし、ブランド力がついた商品で勝負されるとかなり厳しいなと感じました。

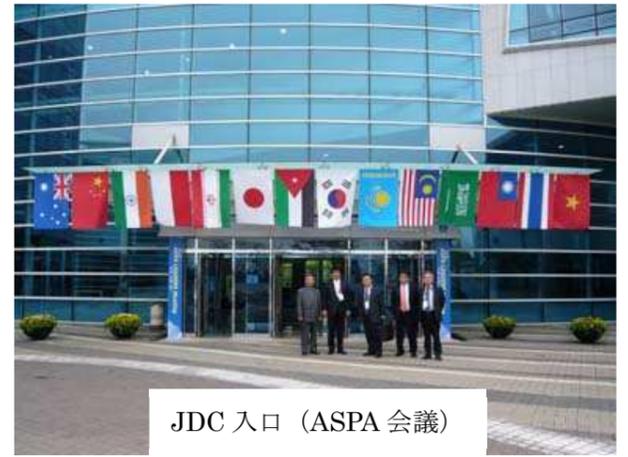
(3) 19:00～ Gala Dinner

参加国別のテーブルによる晩餐会です。前日とは違い安心して食事ができました。韓国の伝統的な踊りや NANTA のパフォーマンスなどを楽しみました。デザートが出てくる頃になる、少しずつ帰る人が出てきて、そのまま流れ解散になってしまいました。このような所にも文化の違いを感じます。

(4) ソウル

飛行機の関係上、札幌に戻るには後泊が必要でした。どうせならとソウルに宿泊をしました。明洞や南大門のショッピング街はアメ横と浅草とあれこれ混ぜ合わせたごった煮感が活気を感じる都市です。呼び込みは日本語で話しかけます。無視していると中国語で話してきます。Casino では中国のパワーに負けていましたが、買い物では日本の面目躍如といったところです。この呼び込みの人達の反応が素直な経済感覚なのかもしれません。

済州でも感じたのですが、地下商店街が至る所にありました。また空港鉄道のソウル駅は地下7階にあるなど、地下空間の発達を感じました。しかし、その考えは地下鉄駅に防毒マスクと思われるものを見つけた時に変わりました。この国はいまだに戦時体制であり、北からの攻撃に備えるために地下街を発展させているのではないかと。
(ANIA 事務局 武田 雅哉)



JDC 入口 (ASPA 会議)



Business Matching



Business Session



Gala Dinner



防毒? マスク